

## 「事前の研究室訪問をお勧めします」

### ◆当研究室について

- ・大学研究推進機構に所属する、工学部応用化学科の協力講座です。
- ・2026 年度は先輩が卒業した状態からのスタートになりますが、その分、**教員とじっくり相談しながら研究を進めることができます。テーマ設定から実験、考察まで段階に応じてサポートします。**
- ・教職員は企業での研究開発経験が豊富で、採用面接にも長年携わってきた経験があります。研究だけでなく、「社会で求められる力」や「企業がどのような人材を求めているか」についても、日々のやり取りの中で自然と学ぶことができます。

### ◆卒業研究テーマ

リチウムイオン電池（LIB）の性能向上を目的とした「有機電解液」の研究を行っています。

**テーマ例：「長寿命・急速充電・高安全性を実現するリチウムイオン電池用電解液の開発」**

様々な次世代電池が提案されていますが、実用面では LIB は今も進化を続けています。当研究室が提唱した「機能性電解液」は、世界中で使用されている LIB の中核技術の一つです。自分の研究成果が、将来の製品や技術につながる可能性もあります。

### ◆卒業研究で大切にしていること

卒業研究では、「まだ答えのないテーマ」に取り組みます。最初は戸惑うかもしれませんが、

- ・調べる
- ・考える
- ・試してみる

というプロセスを教員との相談を重ねながら一つずつ進めていきます。うまくいかないこともあります。それが研究では普通です。その経験を通して、「自分で考えて前に進む力」が少しずつ身についていきます。特別に優秀である必要はありません。**まじめにコツコツ取り組める人、分からないことをそのままにしない人**を歓迎します。

### ◆卒業研究を通じた成長

日進月歩で進む電池研究に触れながら、卒業研究を通して、「知識のアップデート」や「技能のブラッシュアップ」を重ねていきます。実験や議論を積み重ねるうちに、物事を深く考える「思考力」や、状況に応じて判断する力が自然と身についていきます。また、教員との相談や研究活動を通じて、「協働性」や「コミュニケーション力」も少しずつ養われていきます。こうした経験を重ねるうちに、自分で考え、行動できる「主体性」が育ってきて、気がつけば、社会で求められる力を身につけ、次のステージへ進む準備が整っているはずで

- ・リチウムイオン電池の研究に興味を湧いた人
  - ・人とは少し違った環境に自分を置いてみたい人
  - ・落ち着いた環境で、まじめにコツコツ取り組める人
- 歓迎します

以上